



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **05336472 A**(43) Date of publication of application: **17.12.93**

(51) Int. Cl.

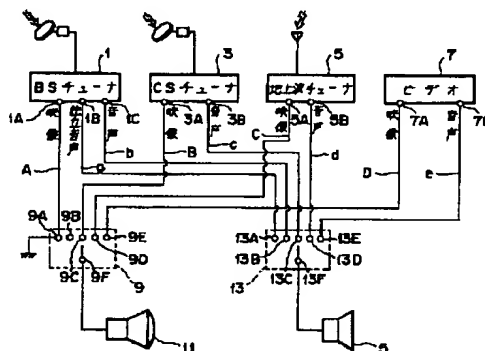
H04N 5/60
H04N 7/20
(21) Application number: **04142839**(71) Applicant: **SONY CORP**(22) Date of filing: **03.06.92**
(72) Inventor: **TAKAHASHI YOKO**
HANAI TOMOYUKI
(54) **SATELLITE BROADCAST RECEIVER**

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide the satellite broadcast receiver capable of simultaneously enjoying images matched with sound, for example, not only the sound even at the time of BS independent sound.

CONSTITUTION: A BS tuner 1 is provided with switching circuits 9 and 13 to which video signals A, B, C and D and audio signals (a,) (b,) (c) and (d) respectively outputted from the BS tuner 1, a CS tuner 3, a ground wave tuner 5 and a VTR 7 are inputted respectively. The fixed contact points 9B, 9C, 9D and 9E of the switching circuit 9 are respectively connected to the output terminals 1A, 3A, 5A and 7A of the video signals A, B, C and D and the fixed contact point 9A is grounded. Thus, when a movable contact point 9F is switched to the fixed contact point 9F, signals to be inputted to a cathode-ray tube 11 are muted.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-336472

(43)公開日 平成5年(1993)12月17日

(51)Int.Cl.⁵

H04N 5/60
7/20

識別記号

Z

庁内整理番号

8943-5C

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全4頁)

(21)出願番号 特願平4-142839

(22)出願日 平成4年(1992)6月3日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 高橋 葉子

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(72)発明者 花井 朋幸

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

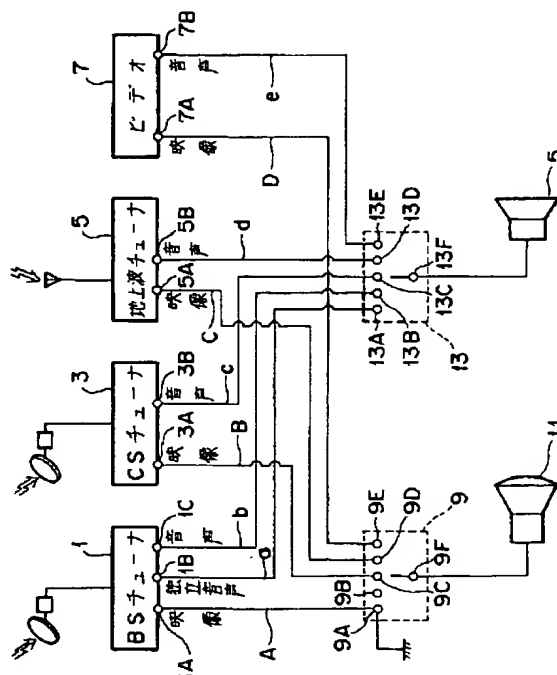
(74)代理人 弁理士 松隈 秀盛

(54)【発明の名称】 衛星放送受信装置

(57)【要約】

【目的】 BS独立音声時であっても単に音声だけでなく、例えば、その音声にマッチした映像をも同時に楽しむことができる衛星放送受信装置を提供することにある。

【構成】 BSチューナ1は、BSチューナ1、CSチューナ3、地上波チューナ5、およびVTR7から各々出力される映像信号A、B、C、Dと音声信号a、b、c、d、eがそれぞれ入力されるスイッチ回路9とスイッチ回路13とを有し、そのスイッチ回路9の固定接点9B、9C、9D、9Eは、各々映像信号A、B、C、Dの出力端子1A、3A、5A、7Aと接続されるとともに、固定接点9Aは接地されており、従って、可動接点9Fが固定接点9Fに切り換わったときには陰極線管11に入力される信号がミュートされる。



本発明衛星放送受信装置の例

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 衛星放送を受信する衛星放送受信装置において、
衛星放送局から音声信号のみが送信されるBS独立音声時に、所望の映像信号を入力する映像信号入力手段が備えられた、
ことを特徴とする衛星放送受信装置。

【請求項2】 衛星放送を受信する衛星放送受信装置において、
衛星放送局から音声信号のみが送信されるBS独立音声時に、映像表示手段に入力される信号を消去するミュート手段が設けられた、
ことを特徴とする衛星放送受信装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、音楽専用に番組編成された衛星放送を受信する際に好適な衛星放送受信装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、放送衛星を利用したテレビジョン放送や音楽専用放送（衛星放送）が登場してきており、いわゆる地上放送とともに益々発展する傾向にある。そして、衛星放送では、一般に、映像信号と音声信号とが同時に送信される場合と、音声信号のみが送信される場合（BS独立音声）とがあり、前者は従来のテレビジョン放送と同様に利用され、後者は従来のFM放送を利用する感覚で利用される。従って、BS独立音声時には映像信号が送信されないため、利用者は音声のみを楽しんでいるのが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、衛星放送では音声信号がデジタル信号で送信されるので、きわめて優れた音質での音声再生が行えるため、単に音声だけでなく、例えば、その音声にマッチした映像をも同時に楽しみたいという要望があった。

【0004】 本発明の目的は、BS独立音声時であっても単に音声だけでなく、例えば、その音声にマッチした映像をも同時に楽しむことができる衛星放送受信装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る衛星放送受信装置は、例えば、図1に示されるように、衛星放送を受信する衛星放送受信装置において、衛星放送局から音声信号aのみが送信されるBS独立音声時に、所望の映像信号B、C、Dを入力する映像信号入力手段9が備えられたことを特徴とするものである。また、本発明に係る衛星放送受信装置は、衛星放送を受信する衛星放送受信装置において、衛星放送局から音声信号aのみが送信されるBS独立音声時に、映像表示手段11に入力される信号を消去するミュート手段9A、9Fが設けられた

2

ことを特徴とするものである。

【0006】

【作用】 本発明に係る衛星放送受信装置では、BS独立音声時に、所望の映像信号が映像信号入力手段により入力できるので、衛星放送局から送信された音声信号にマッチした映像を自由に選択できる。また、ミュート手段により映像表示手段に入力される信号が消去されるので、映像信号が入力されないときの映像表示手段のちらつき等が回避されるとともに、入力された音声信号への影響が回避される。

【0007】

【実施例】 以下、本発明に係る衛星放送受信装置の好適な実施例を、図面に基いて説明する。図1において、本発明衛星放送受信装置が適用されたBSチューナ1は、BSチューナ1、CSチューナ（通信衛星からの送信波受信機）3、地上波チューナ（一般のテレビジョン受像機）5、およびVTR（ビデオテープレコーダ）7から各々出力される映像信号A、B、C、Dと音声信号a、b、c、d、eがそれぞれ入力されるスイッチ回路9（映像信号入力手段）とスイッチ回路13とを有しており、スイッチ回路9の可動接点9F側には陰極線管11が接続される一方、スイッチ回路11の可動接点13F側にはスピーカ15が接続されている。

【0008】 そのスイッチ回路9の固定接点9B、9C、9D、9Eは、各々映像信号A、B、C、Dの出力端子1A、3A、5A、7Aと接続されるとともに、固定接点9Aは接地されており、従って、可動接点9Fが固定接点9Fに切り換わったときには不要な映像信号やノイズ信号が陰極線管11には入力されないため（ミュート手段）、陰極線管11にちらつき等が発生することがない。一方、スイッチ回路13の固定接点13A、13B、13C、13D、13Eは、各々音声信号a、b、c、d、eの出力端子1B、1C、3B、5B、7Bと接続されており、出力端子1BからはBS独立音声時の音声信号aが出力される。

【0009】 ここで、スイッチ回路9とスイッチ回路13とは、BS独立音声時以外においては、連動して切り換わり、例えば、BSチューナ1が通常で使用されて映像信号Aと音声信号bが出力されている状態から、CSチューナ3が使用されて映像信号Bと音声信号cが出力されている状態変化すると、スイッチ回路9では可動接点9Fが固定接点9Bから9Cに切り換わり、これに連動してスイッチ回路13では、可動接点13Fが固定接点13Bから固定接点13Cに切り換わる。

【0010】 一方、BS独立音声時には、音声信号とともに特定のID信号が送信されるため、そのID信号が検出されるのに応答して、スイッチ回路13では可動接点13Fが固定接点13Bに切り換わり、BSチューナ1からは音声信号aのみが出力され、スイッチ回路9では、固定接点9A～9Eを使用者が適宜選択切で可

態となる。

【0011】そこで、このBS独立音声時には、CSチューナ3、地上波チューナ5、またはVTR7から所望に映像信号を陰極線管11に入力することができるので、例えばVTR7から映像信号Dを入力して、音声信号aと組み合わせ、環境ビデオを作成する等の応用が可能である。すなわち、スポーツ放送と独立音声（信号a）との組み合わせ、ビデオ一体型カメラで作成された映像と独立音声との組み合わせ、ビデオソフトと独立音声との組み合わせなどが行える。また、単に音声のみを楽しむ場合には、可動接点9Fを固定接点9Aに切り換えておくことにより、陰極線管11に入力される信号が消去されるので、映像信号が入力されないときの陰極線管11のちらつき等が回避されるとともに、入力された音声信号への影響が回避されて、よりクリアな独立音声を楽しむことができる。

【0012】以上説明したように、この実施例では、BS独立音声時には、スイッチ回路13では可動接点13Fが固定接点13Bに切り換わり、BSチューナ1からは音声信号aのみが出力され、スイッチ回路9では、固定接点9A～9Eを使用者が適宜選択切でき状態とり、このBS独立音声時には、CSチューナ3、地上波チューナ5、またはVTR7から所望の映像信号を陰極線管11に入力することができるので、例えばVTR7から映像信号Dを入力して、音声信号aと組み合わせ、環境ビデオを作成する等の応用が可能である。また、単に音声のみを楽しむ場合には、可動接点9Fを固定接点9Aに切り換えておくことにより、陰極線管11に入力される信号が消去されるので、映像信号が入力されないときの陰極線管11のちらつき等が回避されるとともに、入力された音声信号への影響が回避されて、よりクリアな独立音声を楽しむことができる等の利点がある。

【0013】なお、本発明は、上記実施例に限定されることなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、その他種々の構成を採ることができる。

【0014】

【発明の効果】本発明に係る衛星放送受信装置では、BS独立音声時に、所望の映像信号が映像信号入力手段により入力できるので、衛星放送局から送信された音声信号にマッチした映像を自由に選択できるため、他の衛星放送局からの映像信号、通信衛星からの映像信号、地上放送局からの映像信号、VTRからの映像信号等をその音声信号にミックスさせて、使用者のオリジナルAV空間が作成でき、例えば、環境ビデオとして使用することができる結果、使用範囲が拡大されるなどの利点がある。また、ミュート手段により映像表示手段に入力される信号が消去されるので、映像信号が入力されないときの映像表示手段のちらつき等が回避されるとともに、入力された音声信号への影響が回避されて、よりクリアな独立音声を楽しむことができる等の利点がある。

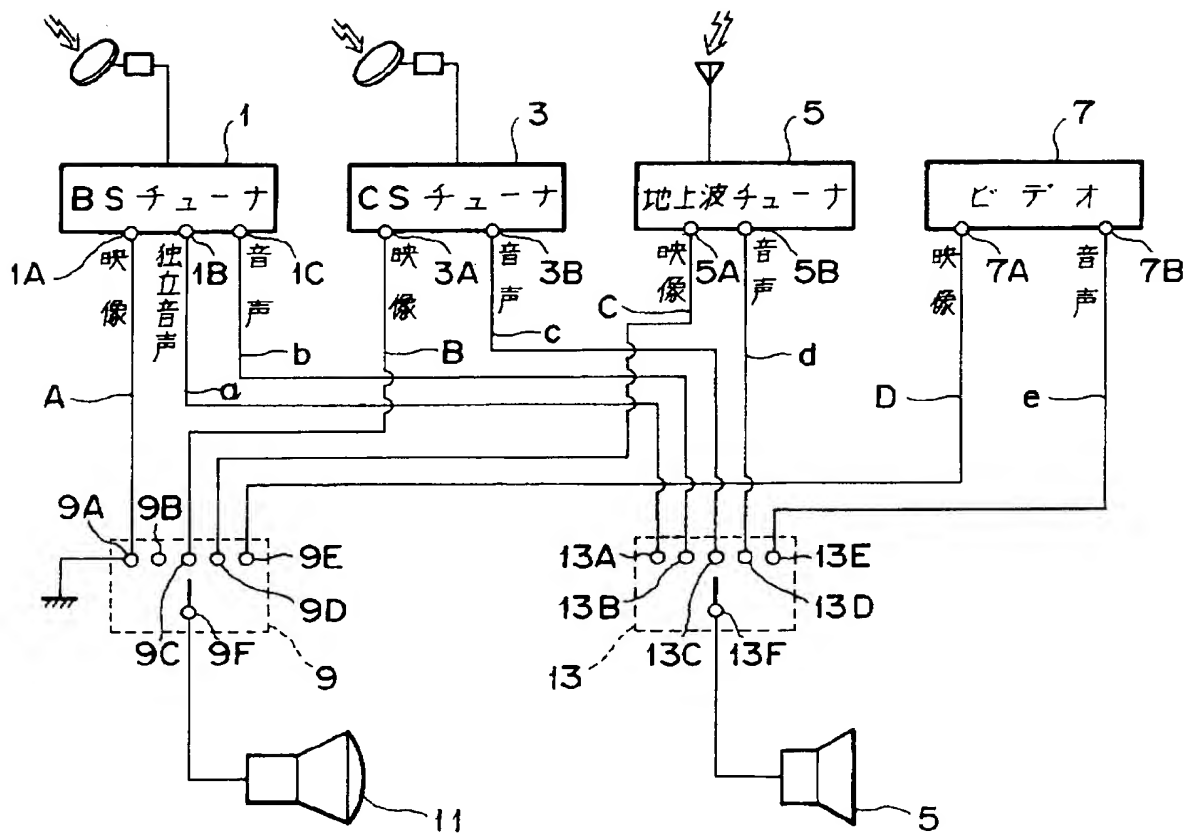
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る衛星放送受信装置の好適な実施例における電氣的構成を示す要部システムブロック図である。

【符号の説明】

- 1 BSチューナ
- 3 CSチューナ
- 5 地上波チューナ
- 7 VTR
- 1A、3A、5A、7A 映像信号出力端子
- 1B 独立音声信号出力端子
- 1C、3B、5B、7B 音声信号出力端子
- 9 スイッチ回路
- 9A～9E 固定接点
- 9F 可動接点
- 13 スイッチ回路
- 13A～13E 固定接点
- 13F 可動接点
- 11 陰極線管
- 15 スピーカ
- A～D 映像信号
- a～e 音声信号

【図 1】



本発明衛星放送受信装置の例